

TANJIN

◆ CONTENTS

01. 特集：マンガ

- ・着た！見た！買った！
- ・それぞれの空間
- ・ゆずれないこの一冊

02. 天神優人：田中めぐみさん

漫画家

03. お昼のオアシス

04. fashion

- ◆ 天神発！早耳映画情報
- ◆ 天神エスプレッソからのお知らせ
- ◆ プレゼント&アンケート
- ◆ エスプレッソを片手に
- ◆ おやじのアンテナ

特集 マンガ

今や、大人から子どもまでマンガに夢中！コンビニで買える333円マンガシリーズもあれよあれよという間に定番商品となり、インターネットカフェの機能を備えたハイテクマンガ喫茶も続々と誕生している。

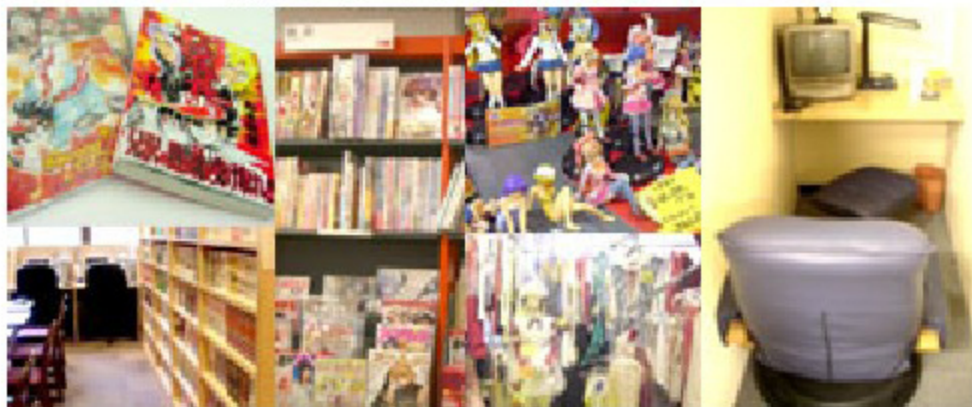
マンガの利点、それは楽しくて分かりやすいところ。だから難しい歴史もしたくない勉強も、マンガなら何とか頭に入るような気がする。学生の頃、授業中、先生の目を気にしながら読んでマンガの面白さもまた格別だった。そんな自分だけのエピソードを思い出しながら、最近の「天神マンガ事情」をぜひ堪能してください。



VIDEO1 ▶

■ STOP

※動画に不具合のある場合はWindows Media Player9(無料)をダウンロードしてご覧ください。



※写真をクリックすると動画を見ることができます。

Media Player版 ▶01

着た！見た！買った！

石川県出身の橋本嬢がマンガ店の大御所「まんだらけ」に突撃取材！コスプレ衣装を着て、店内をくまなく歩く姿をとくとご覧あれ！

その他「アニメイト」「とらのあな」など、オススメマンガグッズも一挙ご紹介。

それぞれの空間

マンガ喫茶を賑わすのは、若者よリサラリーマン諸君だという。「マンガの森」「LUCK」「レモン」などの「隠れ家的存在のマンガ喫茶」に潜入！

ゆずれないこの一冊

エスプレッソスタッフ全員による懐かしいマンガを、思い出と共に紹介します。あ、同じだー！というあなた、きっと私達気が合うでしょうねえ…。あなたの思い出のマンガってどんなのですか？

天神優人 ~あの人の素顔~

デートの時もやっぱり描くんです。



Media Player版 ▶01

昔、小学生の時、毎月「なかよし」やら「りぼん」「ちゃお」という漫画を買うのが最大の楽しみでした。少女漫画に自分を重ねてワクワクしたなあ。その憧れの「なかよし」に入選し掲載されるんだからスゴイものだと感心してしまいました。

by akiko kosaka

▼小5で通信講座

昨年、「ひのものとめぐ」というペンネームで、講談社「なかよし新人まんが賞」に準入選を果たした南区在住の田中めぐみさん。小学校5年生から通信講座でマンガを描き始め、「友達と連載ものなんかを描いては、交換して読みあいつこしてました」。その後、中学3年で初めて雑誌に投稿し、高校生の頃も地方のマンガ賞に応募し、入選を果たしてきた。「描いたら送る」を鉄則とし、「一枚でも絵が上がったら、母親が揚げ物してても見て見て！って」。現在も専門学校でマンガを学んでいる。マンガの題材となるネタ探しには、余念がない。もちろん自分の体験すべてがネタになる。「イヤなことがあってもネタになるからイヤやと思いますし、高校生と小学生の妹たちも駆使してます」。思いついたことを記したネタ帳もここ1、2年で6冊になった。専門学校を卒業後も「ネタになるバイトをしたいですねー、ふふふ」と気負いが無い。

漫画家

田中めぐみさん

▼描くことは呼吸すること。

そんな田中さんも、締切り前には寝ない、食べないのが当たり前。「途中で中断したら忘れてしまうのがイヤなんです」。それでも全く苦にはならない。やっぱりマンガを描いている時が一番幸せですかと尋ねると、「そんなこと考えたこともないですね。私にとってマンガを描くことは呼吸しているのと一緒ですから」とニコニコ笑っている。あつけらかなとこんなすこい言葉を使い放つというのは、やはり天職の証拠である。現に同じ道を志す彼とのデートも「マンガを描いて過ごす」というのだから…。普段はこたつで正座をして描いているそう。

自分の性格は「しつこい感じですね」と分析する。絶対に間に合わないとか分かっていても大好きなTHE BOOMのコンサートにチャリで駆けつけたり、こう見えてなかなかの行動派。思いついたらやらずにはおれない、その情熱と粘り強い根気で、これからも福岡から力作を描き続けていって欲しい。

お昼のオアシス

赤坂美松

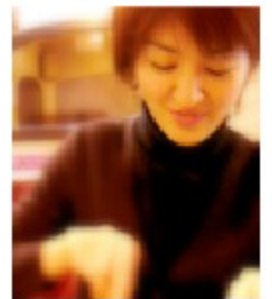


福岡市中央区赤坂1-13-35
 TEL (092)721-6885
 営業時間 9:30~17:30
 休日 日祝日



懐かしいエアコンやコーヒーミル等、インテリアはどれもお店の歴史を感じさせてくれます。

[詳しく見る](#)





■ fashion advisor **しもむら ひろみさん**

※しもむらさんの写真をクリックするとプロフィールが見られます。



まだまだ寒い季節だから…とは言っても、バーゲン品の横にはすでに春物がずらり。街の中もどこかしら春色を使ったコーディネートを楽しんでいるようですね。

ひろみさん
(主婦)



Point
差し色のマフラー

みわさん
(会社員)



Point
ボタンが付いたミニスカート

なつこさん
(エステシャン)



Point
袖の柄が気に入っているムートン

あいさん
(美容師)



Point
働いている美容室「pelo pedir」と同じオレンジ色で統一したとこ。

しもむらさん
オススメ
グッズ



● 帽子作家の原恭子さんの作品と、作品展の案内です。
● 1/23(金)~2/11(水)までイムズ1Fの「musubi」にて作品展をやっています。見てもかぶってもとても楽しい帽子がたくさん展示されています。 <http://energy.ai.to/>
● <写真左から…16,000円・16,000円・18,000円>
● もちろんオリジナルオーダーもできます。



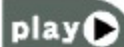
ESPRESSO

e-mail:info@espre.jp



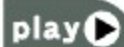
STOP

シービスケット



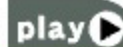
Media Player版 ▶01

タイムライン



▶02

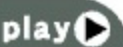
フル・フロンタル



(C)2002 MIRAMAX FILM CORP. ALL RIGHTS RESERVED

▶03

解夏



(C)2003 フジテレビ・紅冬舎・東宝・電通・アルタラビクチャーズ

▶04

天神エスプレッソが毎日届きます!!

天神エスプレッソをご覧頂きまして、ありがとうございます。

この度、2月2日(月)より、天神エスプレッソがリニューアルいたします。

● 魅力その1

毎日コンテンツが変わる!

月曜日から金曜日まで、天神の情報を毎日配信!

「ランチ」「シネマ」「ファッション」「ニュース」などあらゆる情報が盛り沢山。



● 魅力その1

総合サイトが変わる!

天神エスプレッソだけでなく、福岡音楽ポータルサイト発行の動画新聞も登録できちゃう総合サイトとしてリニューアル。随時、新動画新聞も追加予定!



● 重要なお知らせ ●

すでに専用ビューアーでご覧頂いている皆様へ。

リニューアルに伴い、現在ご利用いただいている「専用ビューアー」へのサービスが2004年2月末をもって終了となります。

検索や、待ち受けアイコンの選択など、便利で多機能になった新「専用ビューアー」が誕生! ダウンロードをお願いします。

URL:<http://www.espre.jp>

※日程は変わることがあります。ご了承ください。

プレゼント&アンケート



応募期間: 2004年1月23日(金)~2004年2月1日(日)



3名様

- 1) 「ハリウッド的殺人事件」※1/24(土)より公開
トレーナー(フリーサイズ)
提供 ブエナ ビスタ



5名様

- 2) 500円分図書券
天神コアラ

アンケートに答えてプレゼントももらおう!

アンケートはこちら

☪ エスプレッソを片手に

スタッフリレーコラム

私が漫画を買い始めたきっかけは、付録目当てでした。発売日の次の日くらいは、たいてい他の子たちも付録のおもちゃ(?)を持参。全プレ(応募者全員プレゼント)のあった次の週くらいから多くの子達はその商品を持ってきて、いつの間にか大半がおそろいのものを持つ事になっていました。でも、ある程度歳をとってきたら、“付録>漫画”が徐々に“付録=漫画”から“付録<漫画”に逆転。気付けば漫画ばかり読んでました。

そういえば、月刊誌で『ハロウィン』ってのを買ってました。今は廃刊のようですが。誰も知らないんですよこの雑誌(だから廃刊?)。過去、買っていた人、一人しか知らないです。“伊藤潤二”や“御茶漬海苔”。また“稲川淳二”も度々体験漫画とかやってて今考えると豪華な雑誌でした。やっぱり昔は漫画(マニアック系)とか

好きだったら自分が“ヲタク”だと思われたくないと思死だったりしましたが。今は隠しません！私はヲタクです。じゃなきゃ今の私は無かったの！だから、これからも色んなものにヲタクになりたい！(切実)

ああ。昔と言えば、漫画を読むと馬鹿になるってよく言われていたけど??何でなのでしょう?やっぱり絵ばかり描いてあって想像力が乏しくなるとかが原因なのでしょう?でも、そのイラストを見る事によって、違った刺激を受けると私は思うんですが…。面白いし。とにかく漫画は最高って事で…。



by Shinobu
Kawata

おやじのアンテナ

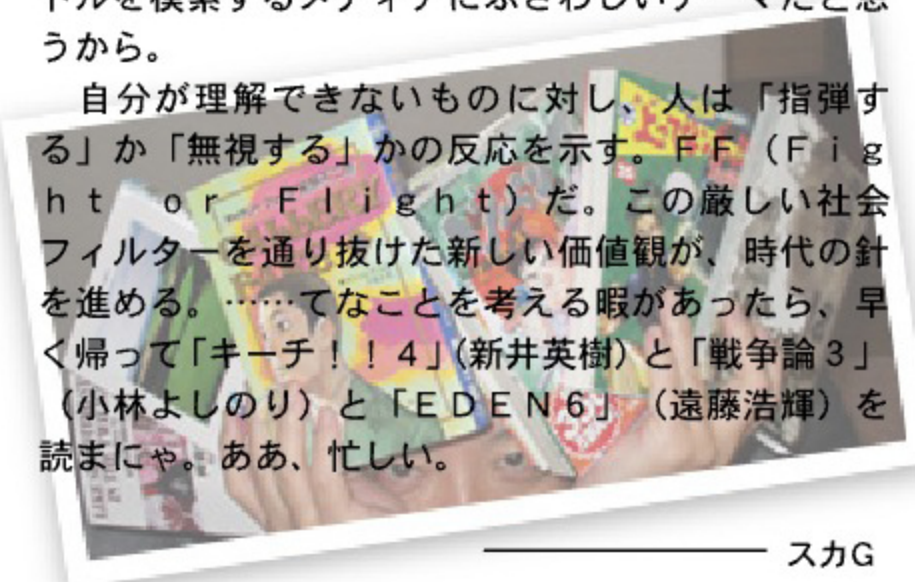
「まったく、マンガばかり読んで！新聞ば読まんね！本ば読めんしゃい！」「なんでよお〜。マンガを馬鹿にしないでよお。新聞やら本やら、だりーヨォ！」なんて親子ゲンカ、したことあるでしょ？

マンガ迫害の歴史は古い。30年ほど前、同じゼミの友人A君は、「カムイ伝」（白土三平）を卒論のテーマにした。いやあ、教授は激怒した。「き、き、君は学問を愚弄するのかっ！！」。「ハレンチ学園」（永井豪）が、国会でやり玉に挙げられたこともあった。「公序良俗に反するマンガは許せな〜い！」と、国会議員が口から泡を飛ばしていた。ミエミエのパフォーマンス。有権者に媚びるあんたの方がマンガだっつうの。

新しい表現者は、常に迫害の標的だ。芝居役者は「河原乞食」と揶揄され、小説家は「穀つぶし」とののしられ、先端アーティストは「奇人変人」と指差されてきた。「マンガ＝コミック」も、脳みそが固化した大人には理解しがたいシロモノなのだろう。ただ「人間交差点」（弘兼憲史）や

「2001夜物語」（星野之宣）のような名作がある一方で、駄作も山のようにある。しかも、人によって基準が異なる多面体だ。だからこそ、「天神エスプレッソ」とう尾の特集は「コミック」にした。若い人たちと一緒に、時代や文化の新しいベクトルを模索するメディアにふさわしいテーマだと思うから。

自分が理解できないものに対し、人は「指弾する」か「無視する」かの反応を示す。FF（Fight or Flight）だ。この厳しい社会フィルターを通り抜けた新しい価値観が、時代の針を進める。……てなことを考える暇があったら、早く帰って「キーチ！！4」（新井英樹）と「戦争論3」（小林よしのり）と「EDEN6」（遠藤浩輝）を読まにゃ。ああ、忙しい。



スカG